

# 木もれ日 通信

Komorebi Tushin

第81号

令和4年5月  
つきだて花工房発  
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと  
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

子ネコとノネズミとヤマツツジ

花を巡る  
ショートストーリー

「カサカサカサ、カサカサカサ」  
なにか小さい足が落ち葉を踏むよ  
うな音が聞こえて、ミータの耳が  
ひとりでにクリクリ、と動きます。  
「カサカサカサ、カサカサ」ミータ  
の目がパチリ、とあいて、音のす  
る方を見つめます。

「やや、そこを行くのはノネズミ  
だな」ミータはすばやく起き上がりま  
でノネズミの前に立ちはだかりま  
した。「ちょうどおやつの時間だ、  
今日のおやつはキミにしよう」ノ  
ネズミにツメをふり上げると、「ミータさん、ミータさん、ちょつ  
と待ってください」ノネズミはブ

山にはヤマツツジのしゅいろの  
花がたくさんさいています。まだ  
葉っぱののびない木の根もとは春  
のひかりでポカポカ。ミータのお  
気に入りのおひるね場所です。ミー  
タは足元の落ち葉をサクサク、サ  
クサクと踏んで地ならしをして、  
くるつとあるくねころびました。  
ミータのからだにウラウラと春の  
ひかりがあたって、思わず目がト  
ロン、ときてきます。

「さあ、もういっぱい。おや、い  
いのみつぱりですね。さあさあ、  
もひとつ」ノネズミはヤマツツジ  
の花をポンポン、ポンポンぬいて、  
つぎからつぎにミータに飲ませま  
した。ミータはだんだんおなかいっ  
ぱいになつて、まんまるだつた目  
がトロン、ときてきました。「ノネ  
ズミくん、ボクはちょっとどこに  
ならせてもらうよ」ミータはまた  
落ち葉の上にまあるとスウ  
スウねてしましました。ノネズミ  
はそのよこをさつきよりもそーつ  
と、そーつとにげていきました。

ミータのからだにはウラウラと  
春のひかり。その周りにはミータ  
がのんだヤマツツジの花  
がたくさんちらばつて、  
まるで花のベッドで  
眠っているようでした。



ルブルふるえながら言いました。  
「その前においしいジュースをごち  
そうしましよう。おやつがひとき  
わおいしくなるジュースです」ノ  
ネズミはブルブルふるえる声で言  
うと、しゅいろのヤマツツジの花  
を一つ、ポン、とブルブルふるえ  
る手でぬきとつてミータにわたし  
ました。「花のつけねのところに  
ジユースが入っているからチュウ  
チュウすつてごらんなさい」「ほん  
とうかい?どれどれ」ミータは花  
のつけねからジユースをチュウ  
チュウ飲みました。ほんのりとあ  
まい、なんともいいにおいのジュー  
スが口いっぱいにひろがります。

# 季節を楽しむつきだてウォーク

※「お客様ノオト」はお休みさせていただきます

この地に養蚕や機織りを伝えたと言われる小手姫にまつわる数々の史跡。江戸末期に九州から移り下手渡地域を統治した下手渡藩。さまざまな昔話、古木など、つきだてには訪れてみたいスポットがたくさん。季節の花々、木々の緑、鳥や虫たちの声を味わいながら、「つきだてウォーク」楽しんでみませんか?

## 岳林寺十六羅漢像

禅宗の一派である曹洞宗の古刹「岳林寺」。門前には「不許葷酒入山門」の大きな石塔があり、天明年間建立と伝わる「十六羅漢像」が向かいの小山に安置されています。

花工房から  
2.1km



至 霊山



## あじさい小径

地元の方々が丹精込めて手入れをしている紫陽花が約2kmの市道沿いに植栽されており、梅雨時には道の両脇に色とりどろの花を咲かせ、多くの人が訪れる花のスポットとなっています。

あじさい小径



花工房から  
1.9km

中田向のコブシ

県道月館川俣線  
269

乳銀杏

349

つきだて  
花工房

耕雲寺侍墓地

花工房から  
1.0km

## 風邪引き地蔵



ています。

## 耕雲寺侍墓地



江戸時代末期、九州からこの地に移封された立花氏の墓所で、一段高い場所にある主君の墓石と家来の墓石が対面して安置されています。また、本堂には立花氏の先祖・高橋紹運が島津氏と戦った際に戦死した家臣の名が記された、高さ1.5m・幅80センチの大きな位牌が安置されています。

至 川俣

至 灵山



## 家族と・仲間とオーダーメイドのウォーキング プランニング花花ウォーク

家族や友人、地域の仲間を誘って自分たちに合ったウォーキングを企画してみませんか? つきだて花工房の散策路や月館町町内(基本的に糠田、下手渡、上手渡地区)で、「季節を楽しむ」「史跡を訪れる」「健康作り」など、目的は自由! 交流館もりもりのスタッフがお手伝いし、コースや歩行時間・距離などなどお客様に合ったウォーキングをお手伝いいたします。お気軽にお問合せ下さい。

日 時: 2022年4月1日(金)~11月30日(水) 9:00~10:00出発

12:00頃までに帰着 ※休館日を除く

料 金: 大人・小学生¥500(一人) 小学生未満無料

対 象: 小学生以上 ※小学生のみでの参加は不可・5名様以上15名様以下で1週間前までにお申し込み下さい

その他: 要予約・天候等により中止の場合があります





## 「ふるさと納税」始めてみませんか？

ふるさと納税は、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度です。寄付金のうち、2,000円を超える部分については所得税の還付や住民税の控除が受けられる上に、寄付金の使い道を指定できたり、その地域の名産品などの返礼品を受け取ることができたりと、とっても魅力的！

つきだて花工房がある伊達市にもふるさと納税ができます。花工房や農産物直売所「やさい工房」からの返礼品を選ぶこともOK！みなさまからのご支援、お待ちしております。詳しくはふるさと納税のサイト「ふるさとチョイス」を検索！

### 一花工房(一般社団法人つきだて振興公社)の返礼品例

- ◆体験宿泊プラン・ふくしま旬の四季彩膳～3人家族コース～(寄付額90,000円)
- ◆つきだて花工房オリジナル 花花はちみつ(寄付額11,000円～)
- ◆月館町の農家さん自慢の新鮮厳選野菜とお米セット(寄付額15,000円)



宿泊Ticket

ふるさとチョイス

検索

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/07213>

小人探しウォーク  
小人を探そう！

つきだて花工房の里山に今年  
も小人たちがやってくる！

つきだて花工房では5月27日  
まで、「小人探しウォーキング」

を開催しています。受付でお渡  
しする地図に書かれたヒントを  
参考に、一周約1・5kmの散  
策路に遊びに来ている小人たち  
を見つけて、写真を撮ってご応  
募ください。抽選で毎月5名様

に、「旬の野菜詰め合わせ」が  
見つけて、写真を撮ってご応  
募ください。抽選で毎月5名様

に、「旬の野菜詰め合わせ」が  
当たります。また、花工房のラ  
ンチや喫茶、農産物直売所「や  
さい工房」でも使える割引券が

もれなくついてくる（大人のみ  
ほか、「ふくしま健民アプリ」

でポイントもGET！期間中は  
何度もご参加いただけます。  
ぜひご家族でご参加ください。

ご応募はキーワード・氏名・  
郵便番号・住所・電話番号・木

もれ日通信81号で印象に残った記  
事とご感想をお書きの上、ハガキ

またはメールで。

〆切は令和4年7月22日到着分  
まで有効です。宛先はこちら。

【ハガキ】〒960-10903  
福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7

つきだて花工房  
期間：5月27日（金）まで  
時間：午前10時～午後3時  
受付：つきだて花工房  
つきだて交流館もりもり  
参加費：大人二百円・  
小学生以下無料

木もれ日通信読者プレゼント係  
【Eメール】flower@t-hanakobo.jp  
タイトルに「木もれ日通信81号  
読者プレゼント係」とお書き下さい。

なお、当選者の発表は賞品の  
発送に代えさせていただきます。  
また、いただいた個人情報はつ  
きだて花工房が責任を持つ管  
理・保管し、プレゼント及び当  
選品の案内をお送りするほか、  
サービス向上のために使用させ  
ていただきます。

今回のキーワードは

「ヤマツツジ」  
たくさんのご応募、  
お待ちしております。

わざびさんが、言いたいのはきっと  
他の月に発行してくれたら、  
「もっと違う商品も紹介できる」と  
ことなんだと思います。わざび  
さん言葉悪いからね——(汗)

（ツッキー）



月の明かりで疲れた  
心を癒したい。  
いますぐカレンダーにチェック!!

満月の夜

5月16日（月）  
6月14日（火）  
7月14日（木）

新月の夜

5月1日（日）  
5月30日（月）  
6月29日（水）  
7月29日（金）

休館日

5月10日・6月14日・7月12日

■お断り

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、営業内容を一部  
変更する場合があります。詳しくはお問合せ下さい。

編集後記

読者プレゼント！  
月館の桃を3名様に  
プレゼント！

